

ケアマネージャー向け Web アプリケーションの改良

Improvement of Web Application for Care-manager

研究学生 野村 美賢 指導教員 江崎 修央

1. はじめに

近年、高齢化社会によりケアマネージャー[1]の需要が高まっている。ケアマネージャーとは、2000年の介護保険制度の導入に伴って定められた専門職であり、介護サービス計画(ケアプラン)を作成することが主な業務内容である。介護保険を利用する人とサービス業者との間を取り持ち、介護保険制度の中でも中核を担う役割を持っている職種である。

しかしケアマネージャーがケアプランを作成する際には、介護保険が改正される度に専用ソフトのバージョンアップ料金や保守料金を支払わなければならない。また、他の事務所との連絡や利用者への訪問時間等の確保、毎月の請求業務が負担となっている。そこで㈱ライフ・テクノサービスから「オレンジネット」[2]と呼ばれるケアプラン作成のための Web アプリケーションが開発されている。

本稿では、「オレンジネット」の機能追加を行った。

2. オレンジネットとは

「オレンジネット」では、利用者情報・事業者情報・関連事業者情報の作成と閲覧が可能となっている。また、システムがブラウザで閲覧可能な Web アプリケーションとなっているので、パソコンに専用ソフトをインストールせずにネットワークの繋がる環境であれば何処でも使用が可能であり、システム利用事業者間でのデータの共有が可能である。

3. オレンジネットの機能追加

今回、「オレンジネット」に2つの機能を追加した。

1つ目は、[関連事業者の選択]画面においての「表示・非表示」を切り替える設定とリスト表示を行う機能である。一度登録をした事業者でも利用しないケースが出てくるが、過去のデータに影響する為削除は出来ない。非表示設定を行うことでリストに表示される事業者が減り、現在利用できる事業所だけの表示、利用しなくなった事業所だけの表示が可能となる。図1に実行画面を示す。「表示・非表示」設定を行う為、[関連事業者書の選択]画面に「表示データ・非表示データ」ボタンを追加した。また同画面において事業所ごとに「表示・非表示」ボタンを追加し、使用しているデータベース[kaigo_test]のテーブル[test_affiliated_corp_info]に新たに[show_divi](型: tinyint)というフィールドを追加した。[show_divi]の値が0の時は表示、1の時は非表示とした。図1の赤枠で示した箇所がその部分である。

2つ目は、[関連事業者の選択]画面をサービス種類(サービス区分)毎に絞り込み表示を可能にする機能である。従来の仕様では、《あ・か・さ・た・な》検索だけであり、サービス区分でソートはされず混在した状態である。この機能を追加することにより、サービスを絞り込んだ事業所一覧表示が可能となり、スクロールもしなくて済むようになる。サービス区分の絞り込み表示を行う為、[関連事業者書の選択]画面にドロップダウンリストを追加し、表1の定義を行った。ドロップダウンリストが選択される度にドロップダウンリストに入力された値(Value)とテーブル[test_corp_info]のフィ

ールド[serv_divi]と一致する条件のものをリスト表示させる。図1の青枠で示した箇所がその部分である。



図1 オレンジネット機能追加画面

表1 ドロップダウンリストの定義

TEXT	Value
すべてのサービス	0
11: 訪問介護	11
12: 訪問入浴介護	12
13: 訪問看護	13
14: 訪問リハビリテーション	14
15: 通所介護	15
16: 通所リハビリテーション	16
17: 福祉用具貸与	17
21: 短期入所生活介護	21
22: 短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	22
23: 短期入所療養介護 (介護療養型医療施設)	23
31: 居宅療養管理指導	31
43: 居宅介護支援	43
71: 夜間対応型訪問介護	71
72: 認知症対応型通所介護	72
73: 小規模多機能型居宅介護	73
32: 認知症対応型共同生活介護 (短期以外)	32
38: 認知症対応型共同生活介護 (短期)	38

4. おわりに

今回、ケアプラン作成のための Web アプリケーション「オレンジネット」の改良を行った。この機能により必要なサービスを現在提供できる関連事業者の選択がしやすくなった。

参考文献

- [1]「ケアマネージャー.com」: <http://boki-tac.com/>
- [2]「オレンジネット」: <http://www.orange-net.jp/index.html>